

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年7月18日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから7月18日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 原子力規制委員会の広報日程について御説明をします。

報道官の吉野です。

第22回原子力規制委員会は、明日の10時半から12時の予定で行われます。

議題は3つです。

まず、1つ目が、原子力規制委員会と原子力エネルギー協議会経営層との意見交換です。

これは、ATENA（原子力エネルギー協議会）が中心となって進めていただいておりますが、デジタル安全保護系の共通要因故障対策について、5月17日の定例会で事務局から説明がありましたような課題が幾つかあったということを受けまして、ATENAを中心として行われている事業者の自主的な対応についてのトップマネジメントの姿勢や、その考え方について経営層に確認を行うという趣旨のものでございます。

議題の2が、デジタル安全保護系に関する日本電気協会規格の技術評価の結果及び実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈の改正案と、そのパブリックコメントについて諮るものです。

同じデジタル安全保護系に関するものですが、議題1と議題2は関連はしておりません。議題2については、技術基準の35条を改正いたしまして、デジタル安全保護系を規定したことを受けて、日本電気協会の規格のほうが変わったということがございまして、この2020年に新たにできた規格についても、解釈の中に読み込めるように解釈を改善するというものでございます。

議題の3が「設計の古さ」への対応に関する安全構造評価の活用についての議論の進め方でございます。

これは第15回原子力規制委員会、6月14日に開かれたものでございますが、そこで指示を受けました「設計の古さ」への対応について、炉安審・燃安審での議論との関連や、どのように、この後、規制委員会の中で議論を進めていくのかということについて整理をして、ちゃんと報告しなさいということで、委員会のほうから指示があったものに対応するものでございます。

これが22回、明日の原子力規制委員会の議題3つでございます。

明日、また、4時から臨時会が予定されております。第23回原子力規制委員会臨時会での議題は2つとなっております。この臨時会議は非公開で行われます。

議題の1が、核物質防護に係る制度改正の検討状況と改善の方向性でございます。

これは、新検査制度が施行されて3年経ちまして、この間、核物質防護にどう対応していくかということについての事業者との意見交換をしてきまして、そこから出てきた課題のうち、2つの事項について事務局として具体的な改善をしたいということで、その議論の内容とか今後の取組方針についてお諮りするということでございます。

議題の2が、国際原子力機関、IAEA（国際原子力機関）の核セキュリティガイダンス委員会第23回会合結果の概要について御説明をするものとなっております。

その他の広報日程ですけれども、3ページを開けていただきまして、7月24日月曜日、第20回国立研究開発法人審議会日本原子力研究開発機構部会が開催されます。

これは、令和4年度の業務の実績に関する評価について御審議をいただくものです。遠山技術基盤課長が対応されます。

同日、第108回特定原子力施設監視・評価検討会がございます。

議題はそこに挙がっております4つです。

議題1では、ALPS（多核種除去設備）処理水の海洋放出に関連する審査・検査の結果について、4月14日以降、どのような状況であるのかについて、規制庁から御報告をさせていただき予定となっております。

また、議題2、議題3は、東京電力のほうから、1号機PCV（原子炉格納容器）内ペDESTルの状況を踏まえた対応状況、それから、中期リスクの低減目標マップにおける取組の進捗状況についての説明を受けることとなっております。

本日御説明する広報日程は以上でございます。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

7月20日木曜日の第31回原子力発電所高経年化技術評価は、議題は浜岡の4号機の30年ですか。

○吉野総務課長 はい。浜岡の4号機の高経年化技術評価についてが議題となっております。

○記者 30分という、審査会合で私はあまり記憶ないのですけれども、何でこんな短い時間なのでしょうか。

○吉野総務課長 これは聞いていたのですけれども。

○司会 広報室、中桐でございます。

今回については、6月19日に補正申請を受理しておりまして、その内容確認ということでもありますので、これぐらいの時間ということで設定されたものと思われます。

○記者 第1回口頭弁論の書類の交換みたいな感じで、あっという間ですよ。いいです。

それから、7月24日の特定原子力施設監視・評価検討会ですけれども、これはALPS処理水の海洋放出というのは、検査についても了承が出たと思うのですが、一体、第1議題で何の話をするのでしょうか。

○吉野総務課長 4月14日が前回の検討会の日程となっておりますので、それ以降の状況を御説明して意見交換をするということになっています。基本、疑問があればそこに答えるというような内容になるかと思えます。

○記者 あまりよく分からないのですけれども、これはわざわざ定例会で、1F（福島第一原子力発電所）からの報告も上がってきて、よろしいですね。という話になっているのにも関わらず、改めてあれですかね。審査会合だから、定例会とは違うと言えればそれまでなのですけれども、今度は1F検討会の中で情報の共有を図るということですか。

○吉野総務課長 はい。そういうことになります。

○記者 分かりました。

○司会 ほかに御質問はいかがでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上とさせていただきます。ありがとうございました。

—了—